

令和3年度 学校園評価シート

園名

加古川市立 野口保育園

1 保育理念 子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す。

2 基本方針

- 一人一人の子どもの生き生きとした生活と遊びを育む
- 日々の保育実践を振り返り、保育者及び保育園の自己評価体制を築いていく
- 異年齢保育を通して、育ち合う仲間関係を築いていく
- 食育を通して、心身の健康やよい習慣が得られるようにする
- 一人一人の育ちと集団としての育ちを大切にする
- すべての保育者、調理員が協働体制を組んで、子どもの育ちを支援していく
- 小学校とのなめらかな接続を図り、5歳児の育ちを支援していく

3 保育目標

- ☆生活に必要な基本的な生活習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う
- ☆ 集団生活を通して、人に対する愛情と信頼感を育て、自立と協働の態度を培う
- ☆さまざまな体験を通して豊かな感性と表現力を養い、創造性の芽生えを培う
- ☆ 生命、自然及び社会の事象に対する興味や関心を育てる

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
(1)基本的な生活習慣を身につける	◎ 明るく元気に自分から挨拶をする。	B	◎年長、年中児の中で自ら進んで挨拶をする子が増えてきた。それに刺激され、年少児もこちらから挨拶をすると返せるようになってきつつある。職員が率先して園児や保護者に 明るく挨拶をし、園全体の意識を高めていく。
(2)健康な身体を育み、生き生きと活動する	◎ 身体を使った様々な遊びを経験し、身体を動かして遊ぶことを楽しむ。	A	◎年間、年齢で分かれて体操やリズムなど、みんなで行う活動を取り入れてきた。朝から戸外で縄跳びや遊具などで全身を使って遊ぶ姿が各年齢共によく見られた。今後も戸外で遊ぶ時間を十分に確保し、健康な身体作りへと繋げていく。
(3)安心・安全な環境づくりを行う	◎ 健康や安全な生活に必要な習慣を身につけ、危機管理への意識を高める。	B	◎マスクの着用と手洗い、消毒、黙食などは定着してきたが、遊びの中で距離をとることは難しかった。コロナウイルスもまだ終息の気配が見られないので、引き続き、園児、職員、保護者が一丸となって、対策を進めていく。
(4)保護者との連携を深める	◎ 子どもの様子をしっかりと伝えあい、成長を共に育んでいく。	B	◎園での遊びの様子をクラスごとに掲示したり、写真販売などで見える化に努めてきた。早朝や夕方の保育を使われている保護者は、担任と話す機会が少ないという意見があるため、ゆっくり話ができる場を設けるなど考えていく。
(5)職員の資質向上を図る	◎ 積極的に園内研修に参加し、学びを保育に生かしていく。	C	◎コロナ禍の中で園内研修の充実を心がけたが、時間を設けることができず、職員の研修ニーズに応えることができなかった。今後は研修に係る日時と時間を設定し、短時間でも定期的に行えるように考えていく。